

個別受注に活用する モジュラーデザインの 考え方と進め方セミナー

～ カスタム化と生産効率化に欠かせないモジュール設計を学ぶ ～

(旧名称：モジュール設計の役割と活用セミナー)

開催日時 2025年 9月17日(水) オンライン 10:00～17:00

対象

- 生産技術部門、生産管理部門のマネジャー、ご担当の方
- 開発部門、設計部門のマネジャー、ご担当の方
- 商品企画ご担当の方

講師 大塚 泰雄 氏
JMA専任講師
株MEマネジメントサービス 専務取締役
(一社)モジュラーデザイン研究会 会長

参加料(税込) 法人会員：57,200円/1名
会員外：69,300円/1名

※参加料にはテキスト(資料)費が含まれています。
※法人会員ご入会の有無につきましては以下URLにてご確認ください。
<https://www.jma.or.jp/membership/>
※お申し込みページ内参加申込規定を確認・同意のうえお申し込みください。

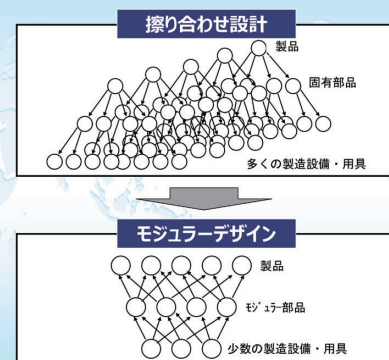
本セミナーのねらい

顧客ニーズが多様化する今日、多くの受注生産メーカーにおいては、製品・ユニット・部品の種類が多くなり製造現場、間接部門は疲弊しているのが現状です。生産性の効率化の最善手段を図ることは言うまでもありません。

本セミナーでは、カスタム化と生産効率化の矛盾を解決すべく、モジュラーデザインに焦点を当てます。モジュラーデザインは、事前にすべての仕様を標準化した製品モデルを確立しておくものです。顧客要求に対しあらかじめモジュール化された部品の組み合わせにより、カスタム化された製品へ対応していく画期的な手法です。

セミナーではモジュラーデザインの考え方と進め方を学んでいただきます。

モジュラーデザインの概念



■ プログラム

10:00～17:00 [昼食] 12:00～13:00

1 あるべきモジュラーデザインの進め方

ー個別受注に活用するモジュラーデザイナーー

- (1)モジュール化の歴史と6つのモジュール化方式
- (2)着眼大局理論で進めるモジュラーデザイン
- (3)モジュラーデザインで会社の何が変わるか

2 モジュラーデザイン可能性分析により 事前に成果を予想する

ー事前の目標設定の重要性を知るー

- (1)事前に行うモジュラーデザイン可能性分析
- (2)製品仕様から可能性を追求する“製品仕様分析”
- (3)部品種類数から可能性を追求する“部品機能分析”

3 製品体系からアプローチするモジュール設計

ー製品群の効率的な品揃えを追求するー

- (1)製品モデルと商品仕様構成
- (2)製品モデルの展開と製品ラインアップ表
- (3)標準レイアウト図から生産部品構成への展開

4 製品性能・部品諸元へモジュール数を適用する

ー製品性能には等比数列、部品諸元には等差数列を適用ー

- (1)種類を抑制するモジュール数(標準数)とは何か
- (2)レンジ化への標準数の適用
- (3)レンジ化・系列化の検討

5 モジュラーデザインの効果をKPIで評価する

ー間接業務を標準化して経営指標を向上するー

- (1)間接業務*の特徴を理解する
- (2)各部門のパフォーマンスドライバーとコストドライバー
- (3)モジュラーデザインの活動効果と経営指標への貢献

■ モジュラーデザイン事例紹介

ー特注品をモジュラーデザインで

いかに標準品へ改善したかー

※多業種にわたる成果事例を紹介いたします

*設計、生技、生管、購買・調達部門の各業務を指します。

※プログラム内容は変更される場合があります。あらかじめご了承ください。

